

## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道45号 <small>かみきたてんまばやし</small> 上北天間林道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県上北郡東北町大字大浦 <small>かみきた とうほくまち おおうら</small> 至：青森県上北郡七戸町大字附田向 <small>かみきた しちのへまち つくたむかい</small>	延長	7.8 km		
事業概要					
<p>一般国道45号は、宮城県仙台市を起点に太平洋沿岸地域をはじめ八戸市や十和田市を經由し、青森市に至る延長約608kmの幹線道路である。</p> <p>上北天間林道路は高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路で、上北道路、天間林道路と一体となって上北横断道路を形成し、青森市と八戸市の連携を強化する道路である。</p>					
H20年度事業化		H16年度都市計画決定		H22年度用地着手	
H23年度工事着手					
全体事業費	229億円	事業進捗率	25%	供用済延長	— km
計画交通量	15,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 4.1 (残事業) 5.4	(残事業)/事業全体 171億円/227億円 事業費：147億円/202億円 維持管理費：25億円/25億円	(残事業)/事業全体 929億円/929億円 走行時間短縮便益：756億円/756億円 走行経費減少便益：100億円/100億円 交通事故減少便益：72億円/72億円	平成24年	
感度分析の結果					
<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>【全体事業】交通量変動：B/C=3.4~5.2(交通量 ±10%) 【残事業】B/C=4.5~6.8(交通量 ±10%)          事業費変動：B/C=3.8~4.5(事業費 ±10%) B/C=5.0~5.9(事業費 ±10%)          事業期間変動：B/C=3.8~4.4(事業期間±1年) B/C=5.2~5.6(事業期間±1年)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土・地域ネットワークの構築 (新たに拠点都市間を高規格道路で連絡するルートを構成する)</li> <li>・災害への備え (緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する)</li> </ul> <p style="text-align: right;">他16項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○青森県知事の意見</p> <p>事業の継続実施に異議ありません。</p> <p>東日本大震災を踏まえ高規格幹線道路網の重要性が再認識されたところであり、いまだ未整備区間が多く残されている本県にとって、高規格幹線道路網の早期整備は、県民の切なる願いであります。</p> <p>県民が安全に、そして安心して暮らすために早期整備をお願いします。</p> <p>事業の執行にあたっては、引き続き、より一層のコスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。</p> <p>○以下の団体等から、上北天間林道路の整備促進について要望あり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会</li> <li>・青森地区国道協議会（会長：青森県）</li> <li>・青森県東北縦貫自動車道八戸線建設促進期成同盟会（会長：青森市）</li> <li>・上十三地域広域市町村圏協議会（会長：十和田市） 他</li> </ul>					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
事業進捗率25%（うち用地進捗率26%）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
事業の進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等					
経済的な長尺プレキャスト製品等を採用し、コスト縮減を図る。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。